

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

『フリマサービスによるトラブルにご注意を！』

最近、インターネットやスマートフォンを使って不要になった物を出品し収入を得る「メルカリ」「ラクマ」などのフリママーケットアプリを利用する人が増えています。国民生活センターでは、このようなフリママーケットアプリについての相談が増えていることから次のような注意を呼びかけています。

事例①
購入した商品が偽物だったのに、出品者に返品に応じて



もらえず、アプリ運営業者に相談したら「当事者間で話し合うように」と言われた。
事例②
アプリを使い出品・発送したブランドバッグを購入者に偽造品だと疑われ、商品代金を支払ってもらえない。
利用する際の注意点
フリマサービスは、個人同士の取引であるためトラブル解決は当事者間で解決することとされています。そのため、運営会社がトラブルに介入せず、解決が困難なケースが多いのが現状です。
当事者間で話し合っても、運営業者に相談しても交渉が進まない場合は、最寄りの消費生活センターなどに相談しましょう。

問 市民課内消費生活センター ☎内線2530

平戸とオランダ - Hiradutch - vol.1

『はじめましてボニーです』

平戸市の国際交流員として着任しましたボニーです。8月にオランダから平戸市に来ました。平戸市に着いて1週間経ちましたが、第1印象で平戸市はとてもフレンドリー、そして過ごしやすいところだと思いました。
私は、オランダの西側に位置する、ドルドレヒト市というところで生まれ育ちました。16歳までずっと同じ町、同じ家で過ごし、毎日同じ顔、そして毎日の学校帰りに同じ建物を見てきました。「早くこの町を出たい」「チャレンジがしたい」という気持ちでいっぱいとなり、2010年に1年間の留学で日本に来ました。たった1年じゃ足りず、オランダの高校を卒業した後、日

本の大学に入学しました。大学に通った4年間の間に、私は2回オランダに帰りました。その2回目に、日本人の友人を連れてロッテルダム、キングデルイク(風車)そして、もちろん、ドルドレヒト市を案内し、地元を彼女の目線で見せる機会がありました。それから、何回か日本のお客さんを案内しているうち、私は初めて地元の美しさに気付くことができました。
私は、オランダ人の目で見ると平戸はとても歴史的で美しい街だということを、平戸の若者にも気づいてもらいたいです。そして自分が住む町に誇りを持ち、平戸を訪れるたくさんの方に、その美しさを伝えてもらいたいです。



国際交流員
ボエト ボニー
(オランダ王国出身)

問 文化交流課交流推進班 ☎内線2278

《 「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です! 》

— みんないきいき元気に —

高齢者の通いの場訪問

VOL.30

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介しています。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎内線2594



「ひも3よかばい」

紐差第3地区では、平成29年5月から50～80代の人が集まり平戸よかよか体操を週1回開催しています。団体の名称は、健康体操などを通じて今まで以上に健康になろうという考えから、地区名と方言を組み合わせ「ひも3よかばい」と名付けています。

会では、平戸よかよか体操のほか、生涯学習出前講座を活用し、読み聞かせや健康体操、また参加者同士で公会堂周辺をウォーキングしたり、食生活改善推進員の協力を受け料理教室なども行っています。体操が終わると持ち寄ったおまんじゅうや果物を囲んで茶話会を行い、お互いの最近の話題で盛り上がったりしています。

Interview

ひも3よかばい

代表
まつせ やすこ
松瀬 康子さん
(紐差町)



民生委員になって2年目となりますが、地区内の高齢者宅を訪問するうちに、皆さんが集まるような場がないか感じていました。現在では、毎回7～8人程度の参加者で、平戸よかよか体操などに取り組んでいます。

参加者の1人は、以前はいすから立ち上がることが容易ではなかったのに、体操を始めてから、楽に立ち上がれるようになりました。また、毎週土曜日に集まることを皆さん、非常に楽しみにしています。

今後は、毎週の体操を通して、地区の人たちの健康増進がさらに進むことを期待しています。

活動日/毎週土曜
午前8時30分～午前10時
活動場所/紐差第3区公会堂
対象者/紐差第3地区
代表/松瀬 康子

